

発行元：うるま市・沖縄市 ちゅらま〜み (腎) プロジェクト
 (CKD・糖尿病性腎臓病予防に向けた病診連携医登録事業) 事務局
 令和2年3月作成

●病診連携推進・評価委員会 報告

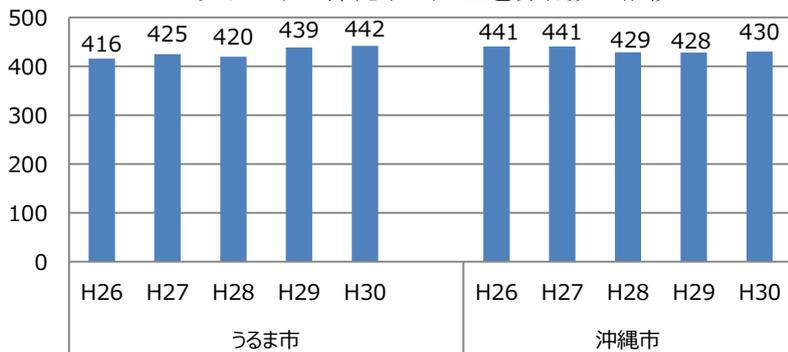
令和2年2月6日(木)うるま市健康福祉センターうるみにて、令和元年度2回目の評価委員会を行い、今年度の事業実施状況や事業の評価に関する報告を行いました。委員の先生方からは、医療機関で把握しているハイリスク群の早期発見、早期介入について、主治医と腎臓診療医が早期に連携をとりGFRの変化率を確認する視点や他職種で介入できる体制、GLP-1受容体作動薬やSGLT-2の投与について意見が出されました。

うるま市・沖縄市の人工透析者数の現状及び病診連携医登録事業の更新状況等についてご報告いたします。

報告1 人工透析者数の現状

CKD

うるま市・沖縄市の人工透析者数の推移



(更生医療・国保・後期高齢データより) (更生医療データより)

■透析者数

人工透析者数の推移を見ると、H30年度うるま市は442名、沖縄市は430名となっており、若干増加で推移しています。



報告2 うるま市・沖縄市の新規人工透析導入者数と導入平均年齢の推移(国保加入者)

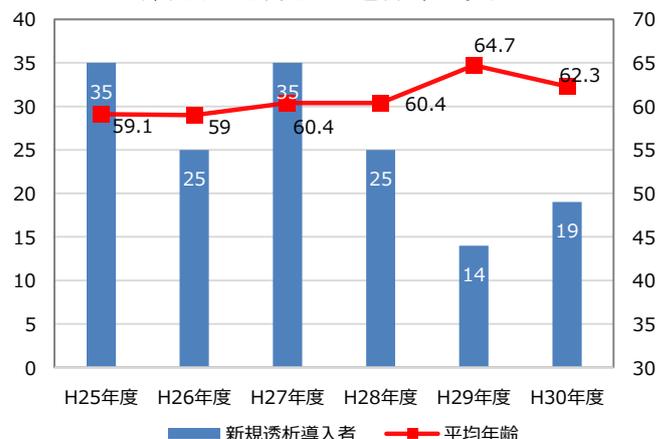
CKD

うるま市の新規人工透析導入状況



■新規透析導入者 ■平均年齢

沖縄市の新規人工透析導入状況



■新規透析導入者 ■平均年齢

H30年度うるま市国保加入者の新規人工透析者数は15人と減少傾向となっており、導入平均年齢は68.4歳となっています。

H30年度沖縄市国保加入者の新規人工透析者数は19人、導入平均年齢は62.3歳となっています。

報告 3
CKD

病診連携医登録事業の更新状況およびCKD・糖尿病性腎症患者の紹介状況について

登録医数 66人

登録医療機関数 34機関



CKD 登録医	54
腎臓診療医	12



うるま市、沖縄市 CKD・糖尿病性腎臓病病診連携医登録事業は開始から2年が経過し、病診連携医のご協力のもと事業の推進を行ってきました。令和元年11月から本事業のさらなる推進を図ることを目的に登録の更新を行い、66人の医師と34カ所の医療機関にご賛同いただいております。

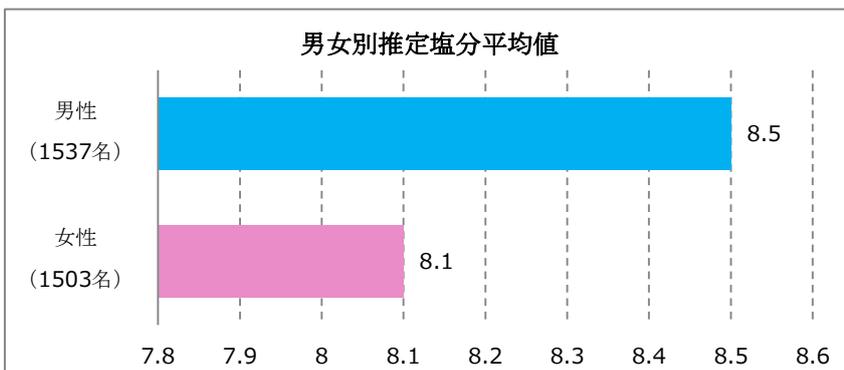
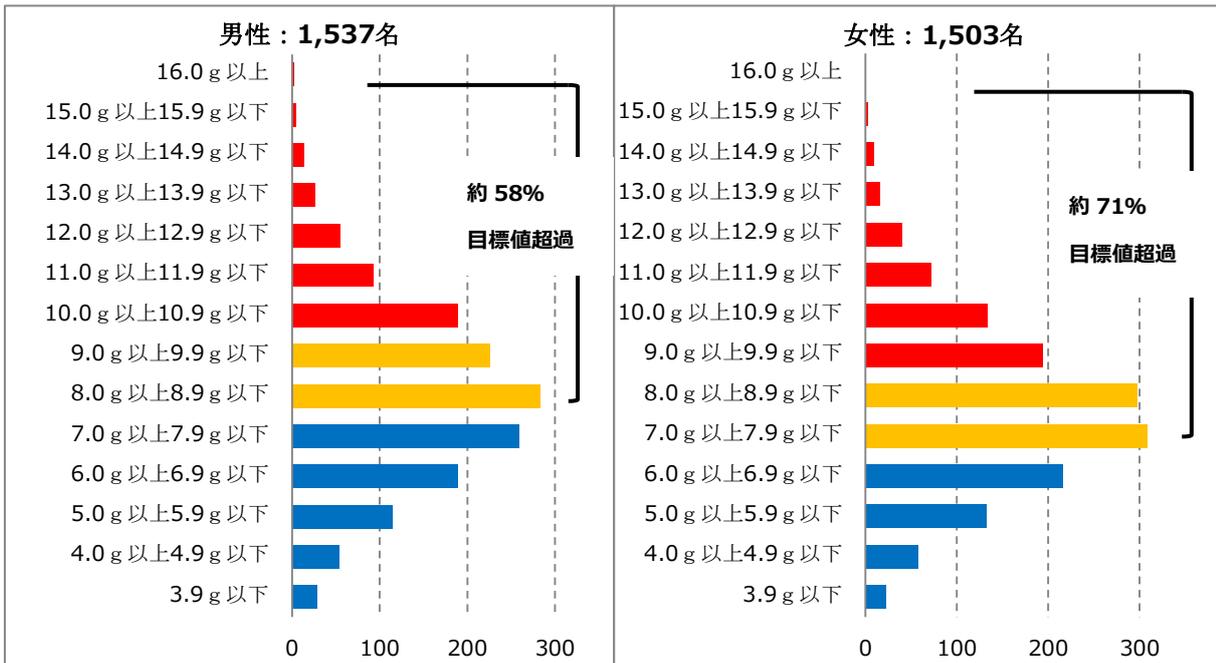
かかりつけ医から腎臓診療医への患者紹介件数はFAX連絡票より175件（アンケートから把握した件数は200件以上）となっております。プロジェクトの様式を活用していただくことで、病診連携状況の把握や評価に繋がり、よりよい連携を図っていきたくと考えておりますので、今後ともFAX連絡票（様式第2号）を活用していただきますようご協力よろしくお願いいたします。

報告 4
CKD

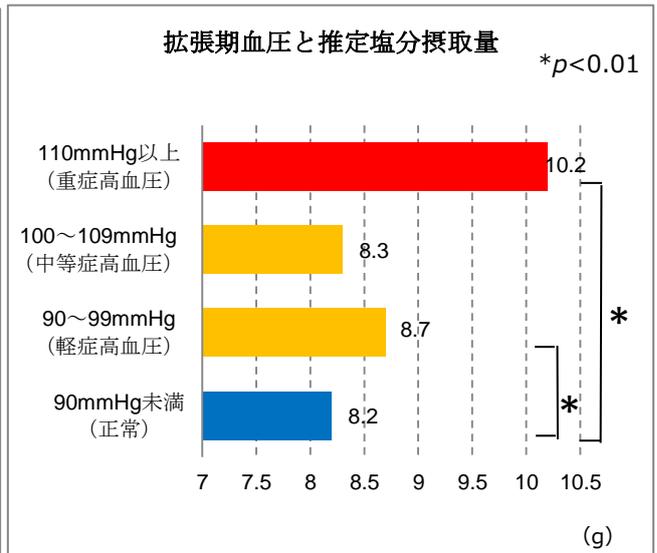
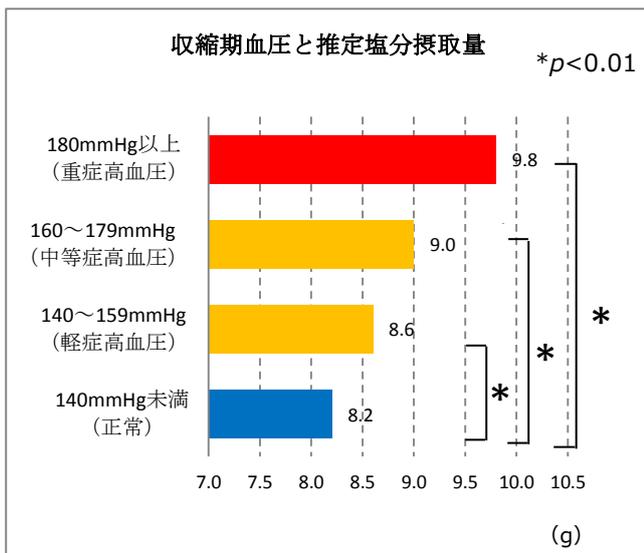
うるま市集団健診における尿中推定塩分検査の途中報告について（実施人数 3,040名）

※12月30日現在

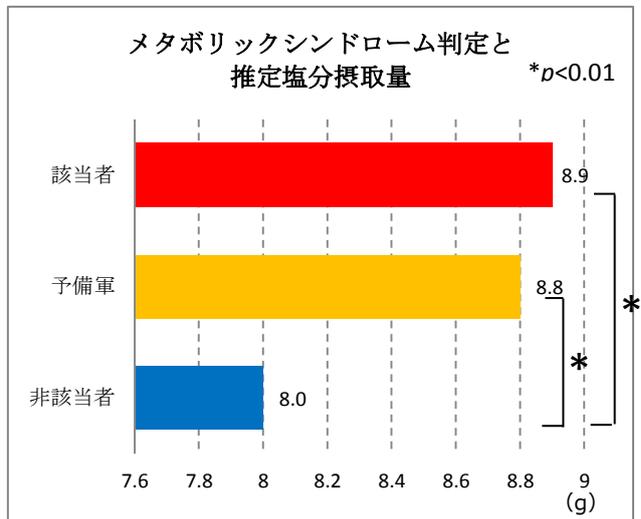
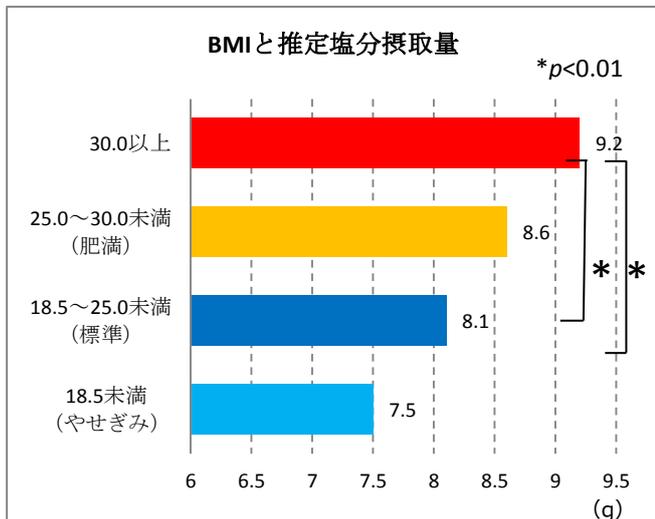
男女別尿中塩分量検査の分布状況



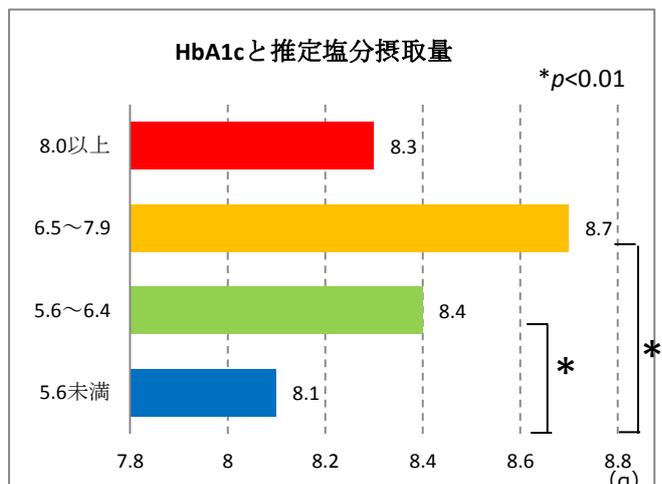
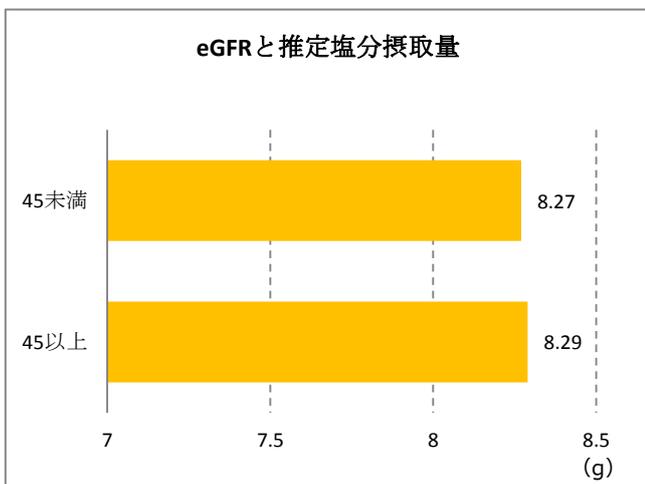
男女別尿中塩分量分布状況より、男性検査者 1,537名の約58%が目標値8.0gを超過、女性検査者 1,503名の約71%が目標値7.0gを超過している現状がありました。



血圧が高いほど塩分摂取量が多く、収縮期血圧、拡張期血圧ともに「有意差あり」という結果が見られました。



BMIが高いほど塩分摂取量が多く、BMI標準の集団と比較するとBMI25以上の肥満の集団については「有意差あり」という結果が見られました。またメタボリックシンドローム該当者、予備軍は非該当者に比べ塩分摂取量が多く「有意差あり」という結果が見られました。



eGFRと塩分摂取量に違いは見られませんでした。

HbA1cについては6.5~7.9の方で8.7gと最も多く、5.6未満の集団と比べると、5.6~6.4の集団と6.5~7.9の集団に「有意差あり」という結果が見られました。

●2019 年度（下半期）活動報告

12/20
CKD

コメディカル情報交換会③（沖縄市役所）



潮平 俊治先生



慢性腎臓病と高リン血症についてしおひら内科・腎クリニックの潮平先生にご講演いただきました。

また行政から医療機関へ繋がった CKD ケースについて情報を共有し、意見交換を行いました。

12/4
CKD

登録医会議（うるマルシェ）



座長 砂川先生



金城先生



宮里先生

CKD の事例について中頭病院金城先生、中部病院宮里先生よりご講演いただきました。

2/2
CKD

市民公開講座（沖縄市福祉文化プラザ）



宮里先生



久場先生



「大切な腎臓のお話～今日から始めるちよい塩生活～」をテーマに、慢性腎臓病と腎臓を守る食事について中部病院宮里先生、中頭病院管理栄養士久場先生よりご講演いただきました。

11/8
CKD

1/17
CKD

減塩教室（健康福祉センターうるみん）



0.7g	0.3g
0.4g	0.5g
0g	
食塩相当量 1.9g エネルギー 546kcal	
<ul style="list-style-type: none"> ● タンドリーチキン ● ペペロンしらたき ● にんじんとツナのマスタードサラダ ● 野菜ジュースdeスープ ● もち麦ごはん 	

0.8g	0.7g	0g
0g	0.8g	
食塩相当量 2.3g エネルギー 483kcal		
<ul style="list-style-type: none"> ● 鮭と根菜のみぞれあん ● 豆苗ともやし塩ナムル ● とろろ昆布のすまし汁 ● もち麦ごはん ● キウイフルーツ 		

減塩ポイントと食事バランスについてミニ講話と調理実習を年4回開催しました。

11/23

CKD

うるま市健康フェスタ（うるマルシェ）



若い世代をターゲットとし「食」をテーマに実施しました。塩分味覚チェックを行い、CKDや減塩に関する情報提供を行いました。

6/18

～21

CKD

沖縄市食育展 減塩コーナー（沖縄市役所ロビー）



減塩についてのパネル展示やソルセイブを用いた塩分味覚チェックを行いました。

11月

CKD

世界糖尿病デー

11月14日の世界糖尿病デーにあわせ、11日～15日の期間、パネル展示、健康相談、血糖測定の実施を行い、糖尿病に関する啓発を行いました。



うるま市健康福祉センター
うるみん1階ロビー

沖縄市役所
1階ロビー



CKD・糖尿病性腎臓病対策について、広く市民へ周知するために、うるま市では地域のさまざまな関係者・関係機関で構成された「CKD・糖尿病性腎臓病対策推進委員会」、沖縄市では「ヘルシーおきなわシティ推進会議」で事業の検討を行っています。

ご意見・ご要望などありましたら、お気軽にご連絡下さい。

- うるま市 健康支援課 (098) 973-3209
- 沖縄市 市民健康課 (098) 939-1212 (内線 2262)

腎臓は全身の鏡！あなたの腎臓疲れていませんか？

腎臓とは…

腎臓は、**そら豆**に似た形の臓器で、**腰のあたり**に**左右対称**にひとつずつあります。わずか**150g**ほどですが、**生命の維持に大切な働き**をしています。

腎臓の役割…

老廃物を体の外に排泄する／**血圧**を調整する／**体液量**や**イオンバランス**を調整する／**血液**をつくる指示をだす／**骨**を強くする

CKD(慢性腎臓病)とは…

腎臓の働き(GFR)が健康な人の60%以下に低下するか、あるいはタンパク尿が出るといった腎臓の異常が続く状態をいいます。CKDの初期には、自覚症状がほとんどありません。**健診(検査)**によって早く異常に気づくことが重要です。腎臓の状態を知る検査には、「GFR」「尿タンパク」などがあります。

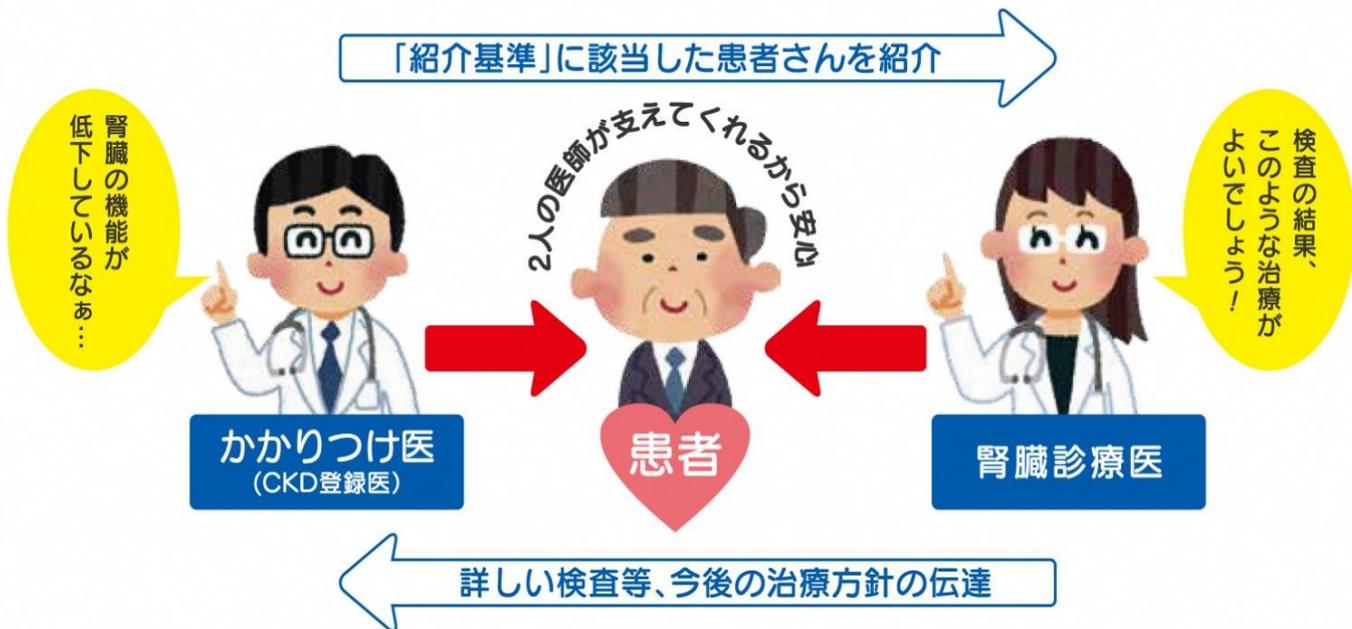
ちゅらまーみ(腎)プロジェクト



うるま市・沖縄市、慢性腎臓病(CKD)病院連携システム

うるま市・沖縄市における新規人工透析患者数の減少を目指し、「CKD登録医(かかりつけ医)」と「腎臓診療医(腎臓を専門に診ている医師)」が連携してCKDの患者さんを支える仕組みづくりです。腎臓の機能低下が疑われる時期から腎臓診療医と連携して治療を行います。

かかりつけ医(CKD登録医)と腎臓診療医の連携



市のホームページに、CKD登録医・腎臓診療医が掲載されています。ぜひ、ご覧ください。